

金融機関との意見交換会に係る金融機関への要望事項について

日本盲人会連合は、視覚障害者自らが主体となり、全国都道府県・指定都市に60団体、会員約5万人を擁する団体として運動を展開しています。

主な活動内容は、視覚障害者政策に視覚障害者のニーズが反映されるように陳情や要求、または意見・提言を行い、文化活動においては全国盲人文芸大会や全国盲人将棋大会を開催するとともに、スポーツの普及、振興に取り組んでいます。また、視覚障害者にとって身近な情報をインターネットや点字、音声等を利用して提供しています。

現在、視覚に障害のある人でも社会参加ができるように様々な取組がされていますが、視覚障害者の社会参加に必要不可欠で重要な金融機関において、以下の意見が多く寄せられています。

つきましては視覚障害者の自立やプライバシー保護と社会参加促進のため、ご配慮賜りますようお願いいたします。

要望事項

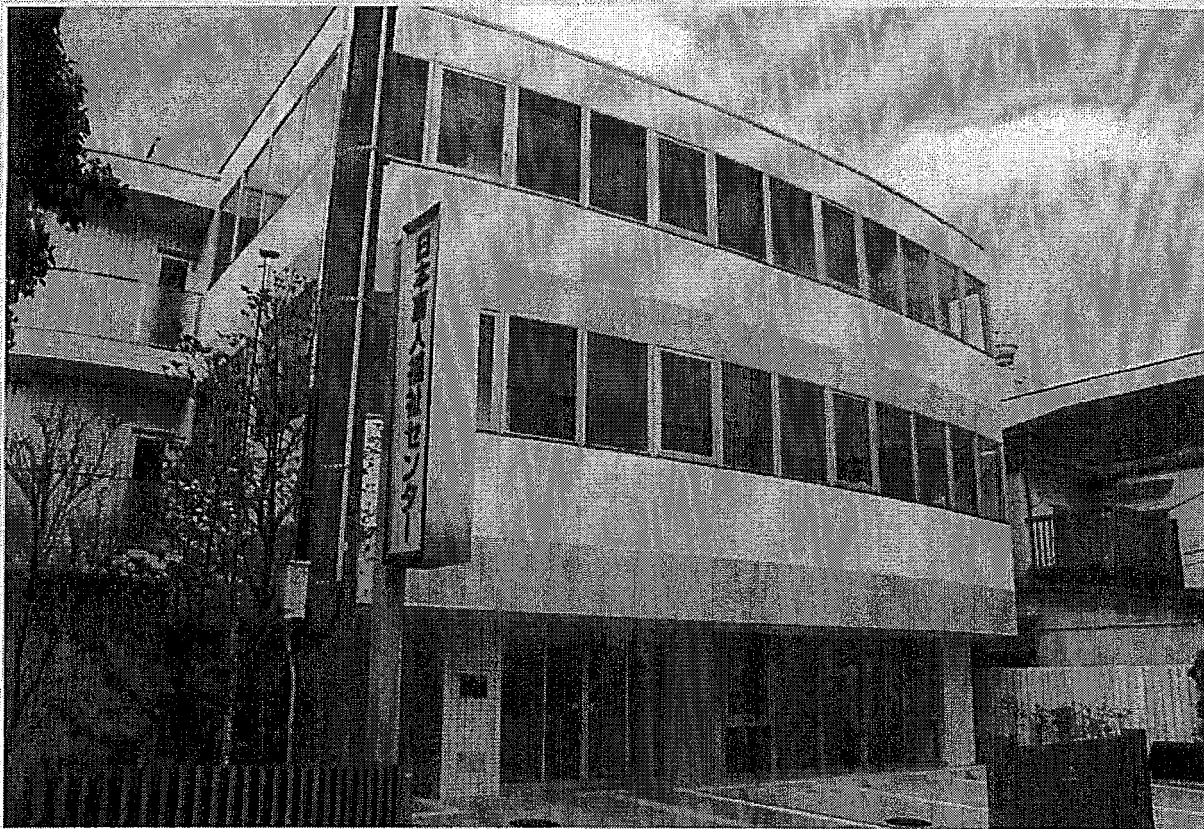
1. すべての金融機関において、視覚障害者のための代読、代筆が認められるようにしていただきたい。また、そうした合理的配慮を確実なものとするために、代読、代筆を法的に位置付けていただきたい。
2. ATMを音声化するなどして、視覚障害者が単独で容易に使えるATMを新・増設していただきたい。
また、弱視者のために画面を拡大するとともに、操作はタッチパネルではなくボタン式にしていただきたい。

平成22年9月8日

社会福祉法人 日本盲人会連合
会長 笹川 吉彦



日本盲人会連合のご案内



日本盲人福祉センターは、平成20年に全国の視覚障害者並びに関係者からの寄付金及びJKA補助金で建てられました。

社会福祉法人 日本盲人会連合

〒169-8664 東京都新宿区西早稲田二丁目18番2号

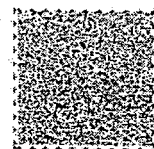
総務部(代表) 03-3200-0011 点字出版所 03-3200-6157

情報部 03-3200-6169 録音製作所 03-3200-6172

点字図書館 03-3200-6160 用具購買所 03-3200-6422

FAX(共通) 03-3200-7755 Eメールアドレス jim@jfb.jp

〈ホームページURL〉<http://www.normanet.ne.jp/~nichimo/>



運動団体としての活動

1. 沿革

日本盲人会連合は、視覚障害者自身の手で、“社会参加と平等”、“万人のための社会”を実現しようと組織された視覚障害者の運動団体です。昭和23年に都道府県・指定都市の視覚障害者団体の連合体として結成され、国や地方自治体に対して視覚障害者政策（人権、福祉、教育、職業、環境問題等）に視覚障害者のニーズが反映されるように、陳情や要求を行う一方、障害者福祉関係施策に関する研究会、検討会等のメンバーとして必要な意見、提言を行うなどの運動を続けています。

2. 組織

組織団体数 全国59視覚障害者団体

会員数 視覚障害者約50,000人

理事会、評議員会、総合企画審議会が置かれているほか、専門分野ごとに次の5つの協議会が設置されています。

- ・青年協議会
- ・女性協議会
- ・音楽家協議会
- ・あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師協議会
- ・スポーツ協議会

3. 主な事業

運動団体としての以上の活動のほか、併行して次のような事業を展開しています。

(1) 盲人団体に対する連絡、指導、助成

(2) 情報宣伝活動

傘下団体との日々の連絡のほか、月刊の情報紙「点字日本」（点字版）、「日盲連アワー」（録音版）、「愛盲時報」（墨字版）を発行しています。

(3) 海外関係諸団体等との交流、情報交換

(4) 職域拡大、あん摩・鍼・灸等の生業安定に関する調査、研究

(5) 盲人福祉に関する調査、研究

(6) 全国盲人福祉大会等の開催

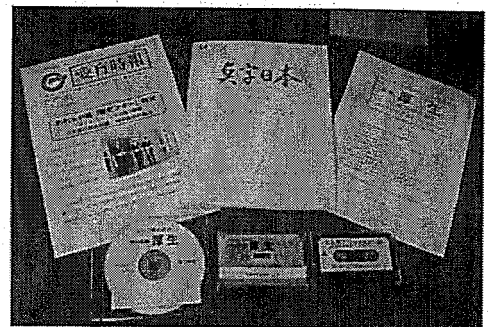
全国盲人福祉大会を毎年1回、全国持ちまわりで開催。全国から約2,000人の視覚障害者が参集し、当面する課題等について研究、討議を行います。また全国盲青年研修大会、全国盲女性研修大会、全国盲人音楽家福祉大会なども毎年開き、ノーマライゼーションの理念のもと、あらゆる分野でのバリアフリー化をめざして活動しています。



自由民主党に要望事項の実現を求める



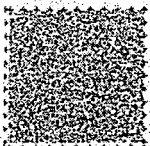
バリアフリー対策実現へ音声信号の実証実験



各種媒体による情報提供

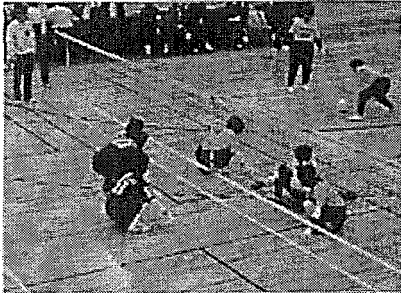


全国盲人福祉大会最終日の大会式典



(7)文化、スポーツの振興

「全国盲人将棋大会」「全国盲人文芸大会」「厚生労働大臣杯全国フロアバレーボール大会」「全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール地区予選会」の開催、「全日本視覚障害者柔道大会」「全国視覚障害者卓球大会」「全日本グランドソフトボール選手権大会」「全国視覚障害者ボウリング大会」の後援など、文化事業やスポーツを通して“豊かな社会生活”の推進に努めています。



全国フロアバレーボール大会



全国盲人将棋大会



全日本視覚障害者柔道大会

福祉センターとしての活動

1.沿革

日本盲人会連合は、昭和41年に社会福祉法人の認可を受け、現在地において、次のような視覚障害者福祉サービス活動を展開しています。建物は鉄筋3階建1,310㎡。

2.主な事業

(1)点字図書館の設置運営

(点字図書20,000冊、テープ図書50,000本、CD図書3,000枚)

(2)点字出版所の設置運営

(3)録音製作所の設置運営

(4)用具購買所の設置運営

(視覚障害者用補装具、日常生活用具の展示、販売斡旋)

(5)更生相談所の設置運営

(6)ガイドセンター事業

(7)点訳指導者・専門者養成講習

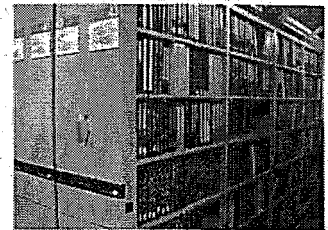
(8)音訳指導者養成講習

(9)点字ニュース即時提供事業

(点字JBニュース、電話ナビゲーションサービス他)

(10)各種定期刊行物の製作、配布

- * 政府広報誌「厚生労働」の点字版「点字「厚生」、録音版「声の広報・厚生」(受託)
- * 政府発行の「厚生労働白書」及び「障害者白書」の録音版(受託)
- * 海外の視覚障害者の動きを伝える「ワールド・ナウ」(点字版)など



点字図書館



点字出版所



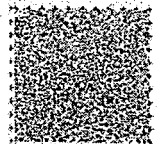
録音製作所



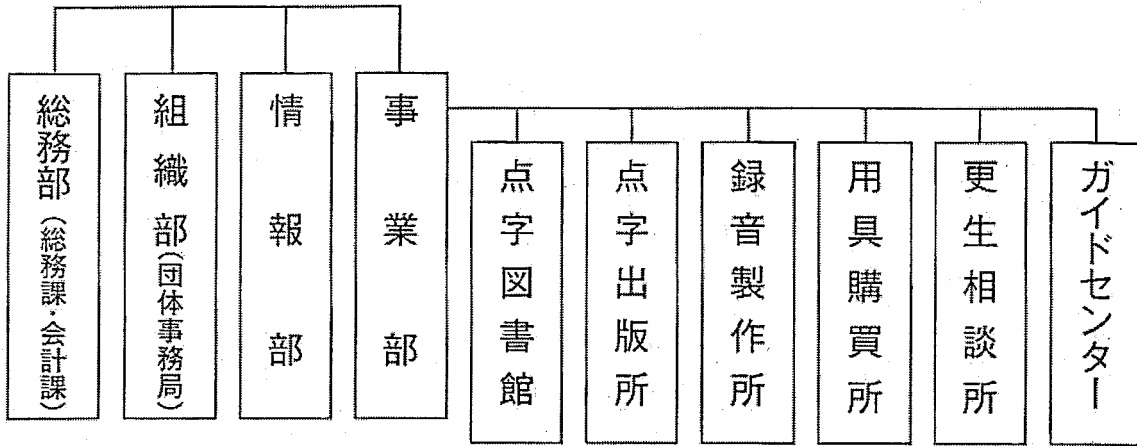
用具購買所



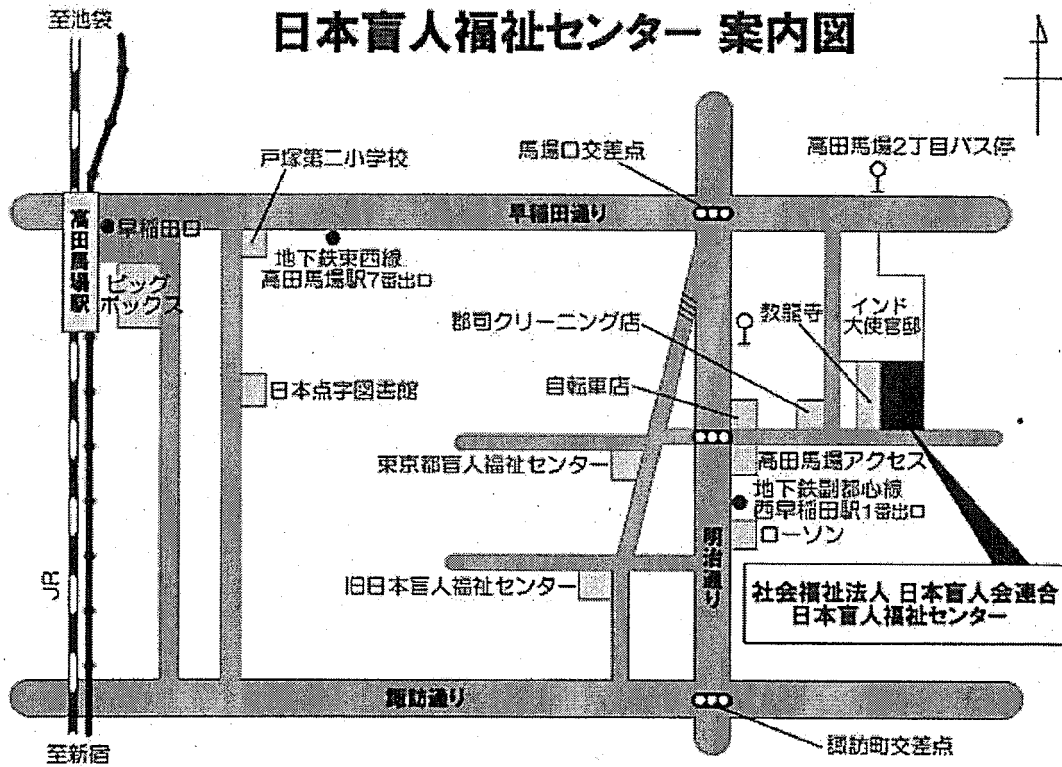
研修室



組織図



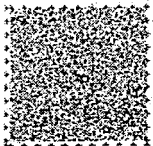
日本盲人福祉センター 案内図



○交通アクセス

- ・JR山手線・西武新宿線で来られる方は→「高田馬場駅」早稲田口から徒歩約15分
- ・地下鉄東西線で来られる方は→「高田馬場駅」7番出口から徒歩約10分
- ・地下鉄副都心線で来られる方は→「西早稲田駅」1番出口から徒歩約3分
- ・バスで来られる方は→「高田馬場2丁目」バス停から徒歩約5分

○休館日 第2・第4土曜日、日曜日、祝日、夏季・年末年始



社会福祉法人日本盲人会連合の主な活動状況実績一覧

- S 2 3年 視覚障害者の全国組織、日本盲人会連合を結成
第1回全国盲人福祉大会(於 大阪府貝塚市)
ヘレンケラー女史招請(2回目)
- S 2 5 点字版「愛盲時報」発行開始(47年3月まで)
- S 2 9 第1回全国盲婦人大会開催(於 大阪市)
- S 3 0 第1回アジア盲人福祉会議開催(於 東京/12ヶ国750名)
第1回盲青年大会開催(於 兵庫県明石市)
- S 3 1 ヘレンケラー女史招請(3回目)
- S 3 9 本部事務局大阪から東京に移転
- S 4 1 社会福祉法人認可
点字出版事業、更生相談事業、盲人用具斡旋販売事業開始
- S 4 2 加盟団体への連絡、助成事業開始
国際盲人連盟(IFB、のち世界盲人連盟(WBU)となる)へ加盟
- S 4 6 日本盲人福祉センターが新宿区諏訪町に竣工落成(東京都新宿区高田馬場)
点字図書館開設
- S 4 7 朗読奉仕者養成講習事業開始 / 点訳奉仕者養成講習事業開始
月刊点字情報誌「点字日本」発行開始
- S 4 8 録音製作事業開始
厚生省委託「点字厚生」発行開始
朗読・点訳奉仕者養成講習修了者に対する事後指導開始
- S 5 1 厚生省委託「録音厚生」発行開始
- S 5 2 第1回全国盲人将棋大会(於 広島市)
カセット録音テープ図書、テープライブラリィ制作事業開始
(平成12年まで毎年8,000から10,000本無償配布)
- S 5 3 第1回全国視覚障害者社会人卓球大会(於 富山県)
- S 5 9 月刊録音版情報誌「日盲連アワー」発行開始
- S 6 1 日本視覚障害者柔道連盟結成 第1回大会開始
(於 講道館/皇太子殿下御観覧)
- H 1 東京都委託「ガイドセンター運営事業」開始
- H 3 パソコン通信 日刊「点字」Bニュース事業開始(以後継続)
第2回世界盲人連合(WBU)東アジア太平洋地域会議開催(於 東京)
- H 5 WBUマッサージセミナー開催(於 つくば市)
- H 6 第1回全国フロアバレーボール大会開催(於 座間市)
厚生省委託：海外情報点字誌「ワールドナウ」発行開始
- H 1 0 社会福祉法人日本盲人会連合結成50周年記念第51回全国盲人福祉大会
(於 東京都/記念式典には天皇皇后両陛下ご臨席)
- H 1 1 厚生省委託：電話で聞ける「音声による新聞情報提供システム」事業開始
- H 1 2 第1回グランドソフトボール選手権大会開催(於 一宮市)

- H15 全国62ヶ所の地方組織に点字情報提供システム整備、インターネット方式導入(受信方式が、点字プリント、電話、インターネットの3方式となる)
- H16 点訳・朗読奉仕員指導者養成講習事業開始
- H17 第20回記念全日本視覚障害者柔道大会(於 講道館/皇太子殿下御観覧)
第29回全国盲人将棋大会(於 戸山カワイス/日本将棋連盟米長邦雄会長ご臨席)
- H19 第14回大山康晴賞受賞(将棋会館)
- H20 日本盲人福祉センターが現在地に竣工落成(東京都新宿区西早稲田)
- H20 新日本盲人福祉センター落成・結成60周年記念第61回全国盲人福祉大会(於 東京体育館)
- H20 視覚障害者移動支援事業従事者資質向上研修(第1回)実施(於 日本盲人福祉センター)

社会福祉法人日本盲人会連合 組織図

平成22年8月1日現在

